

第4章 公共交通の課題

新発田市地域公共交通網形成計画策定時の課題は各種取組により一部改善されているものの、今後も継続的な取組が必要な内容であることから、本計画では新発田市地域公共交通網形成計画の課題を踏まえて整理しました。本市の公共交通の現状や取り巻く社会状況も併せると、次の9つの課題に整理されます。

課題1 周辺地域と市街地を結ぶ移動手段の確保

本市の主要な施設（公共施設、商業施設、医療機関等）は、新発田市街地に集積しており、周辺の各地域から新発田市街地への移動が多くなっています。そのため、周辺の各地域と新発田市街地を結ぶ移動手段を確保する必要があります。

課題2 地域特性や移動ニーズに応じた公共交通の見直し

人口減少などを背景とする利用者の減少、運転手不足の深刻化など、公共交通の維持・確保はこれまで以上に厳しい状況になってきています。公共交通を取り巻く環境の変化を見据えて、地域ごとの特性や移動ニーズに応じた、持続可能な公共交通への見直しが必要です。

課題3 まちの変化に対応する移動手段の確保

多くの施設が集積する新発田市街地において、回遊性を高める利便性の高い公共交通が求められています。一方で新興住宅地や新たな商業施設の開発に伴い、コミュニティバスでカバーできていない地域があることから、移動手段の確保が必要です。

課題4 近隣市町との連携による地域の活性化

人口減少が進行している中、暮らしやすいまちを維持するには、近隣市町と連携しながら、圏域全体の活性化を図っていく必要があります。公共交通においても、圏域における移動を支える交通手段の再編整備を図り、効率的なサービスを提供することが必要です。

課題5 交通結節点等における環境整備

新発田駅は市内の公共交通が全て乗り入れる交通結節点となっており、結節点機能を高めるために、鉄道、バス等の待合環境の整備や乗継ぎでの各種公共交通の連携、情報提供など、さらなる利便性向上を図る必要があります。

課題6 利用を促す公共交通の情報発信

「どんな公共交通が運行しているか知らない」「乗り方がわからない」など、公共交通に関する情報を知らない市民も多く、アンケート調査では、公共交通に関する情報発信の充実に関する改善要望も多くなっています。そのため、公共交通に関する情報を分かりやすく提供し、潜在的な利用者にも利用してもらえるような環境整備が必要です。

課題7 地域で支える公共交通の構築と意識の醸成

周辺地域において公共交通を維持・確保するためには、居住地の分布や移動ニーズに合わせてきめ細やかな運行内容の検討を行い、継続的に利用してもらうことが必要です。将来にわたって持続可能なものとするために、地域で支える公共交通体制の構築と「地域で地域の公共交通を守る」という意識を醸成し、公共交通の利用を促進することが必要です。

課題8 輸送資源の確保

公共交通の運転手不足が深刻化しており、公共交通を維持・確保していく上での大きな課題となっています。持続可能な公共交通の実現に向けて、地域の交通事業者と連携した取組や、地域の輸送資源の総動員等の検討が必要です。

課題9 利便性・効率性の向上に向けた新技術導入の検討

公共交通を取り巻く社会状況を踏まえ、AI や MaaS*などの新技術の導入を検討し、公共交通のさらなる利便性・効率性の向上を図ることが必要です。

第1章

はじめに

第2章

現状
公共交通
の
地域
および

第3章

新
発
田
市
地
域
交
通
網
の
計
画
評
価
形
式

第4章

課
題
公
共
交
通
の

第5章

基
本
的
な
方
針

第6章

計
画
の
目
標

第7章

目
標
を
達
成
す
る
た
め
に
行
う
交
通
施
策
・
事
業

※MaaS：地域住民や旅行者1人1人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービス



図 MaaS のイメージ

出典：国土交通省 HP